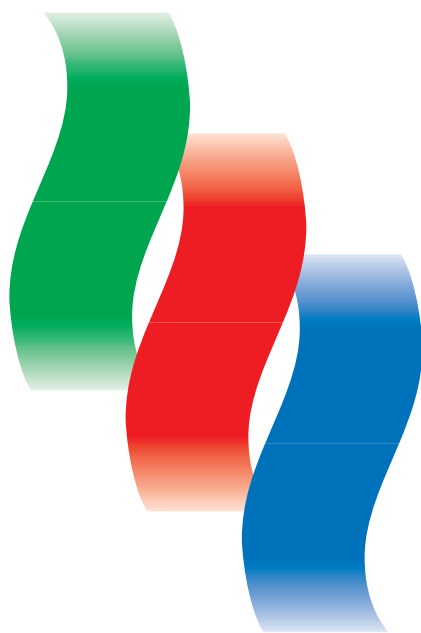


城西大学語学教育センター 研究年報

No.6



2012年



城西大学

城西大学語学教育センター
研究年報

第 6 号

城西大学

The Language Education Center of JOSAI UNIVERSITY
BULLETIN

CONTENTS

Articles

Differences in Comprehension:

Visual Stimulus vs. Auditory StimulusTomokazu Nakayama, Akira Iwata 1

Learners' perception toward written languaging

in the form of metanotesMasako Ishikawa 9

Improving Vocabulary Ability by Focusing

on the Parts of SpeechMinako Nakamura 23

An Intensive Academic English Class:

Using CLIL Concepts for False BeginnersTodd Armstrong 31

Language policy and national development:

the cases of Malaysia and JapanHidemori Yasuyama 37

執筆者紹介（本号掲載順）

中山 誠 一	語学教育センター助教
石川 正 子	語学教育センター助教
中村 美 奈 子	語学教育センター助教
トッド・アームストロング	語学教育センター助教
安山 秀 盛	語学教育センター非常勤講師

『城西大学語学教育センター研究年報』投稿規定

『城西大学語学教育センター研究年報』への投稿は次の要領に基づいて行われることとする。

1. 投稿資格は原則として本学語学教育センター所属の専任教員、および非常勤講師に限る（専任教員との共著者も可）。
2. 投稿原稿の内容は未公刊のものとする。
3. 投稿原稿の種類は研究論文、研究ノート、翻訳の3種類を基本とする。
4. 投稿原稿の長さは400字詰原稿用紙50枚（欧文8,000語）以内を原則とする。
5. 和文の場合は欧文の表題、執筆者のローマ字表記を必要とする。
6. 図・表は合わせて10枚以内とする。
7. 原稿は原則としてワープロで作成し、フロッピーとプリントアウトしたものを編集委員に提出する。
8. 印刷の体裁は編集委員に一任するものとする。
9. 研究論文の場合は編集委員会を経て掲載の可否を決定する。
10. 掲載された論文等の著作権は原則として城西大学語学教育センターに帰属する。
11. 締切りは9月末日とする。
12. 執筆者には抜粋30部を無料配布する。
13. 本誌論文は査読をへて掲載されるものとする。

付 則

この規定は平成22年4月より施行される。

編集委員

小堀隆司

吉田尚子

鈴木たけし

中村美奈子

城西大学語学教育センター研究年報 〈第6号〉

平成24年3月31日 発行

編集兼 城西大学語学教育センター
発行人 研究年報編集委員会
〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 049-271-7884

©代表者 森本 憲
印刷所 (有)東京工芸社
TEL 049-285-4611(代)
